

## 北九州 PCB 廃棄物処理施設第 1 期施設 2 次洗浄室内での 洗浄液の漏洩の原因と対策について

平成 25 年 2 月 1 日 (金) に発生しました第 1 期施設の 2 次洗浄室内での洗浄液の漏洩につきましては、同日に概要をお知らせしたところですが、原因の究明と対策を講じ、北九州市より確認をいただきましたので、ご報告いたします。

なお、この設備を含め施設全体の安全運転につきましては、細心の注意を払って努めて参りますので引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 1. 発生状況

平成 25 年 2 月 1 日 (金) 午前 9 時頃、第 1 期施設 1 階にある 2 次洗浄室内の含浸物 2 次洗浄装置の熱交換器に接続していた窒素ガスホースから、トランス・コンデンサ内部の紙・木などを 2 次洗浄した洗浄液 (PCB 濃度 0.17%) が約 10 リットル漏洩していることを発見し、速やかに漏洩防止及び漏洩物の回収・拭取りを実施しました。

これによる PCB 等の施設外への漏洩や換気排気の外部への影響並びに作業員への影響はありませんでした。

### 2. 発生原因

作業者が作業手順を順守せず、以下の作業ミスが発生させたことにより、ホースが元栓から外れたため。

- (1) 2 次洗浄装置上部の窒素ガス元栓とホースとの接続確認が不十分であったこと。
- (2) 窒素ガス注入開始時の確認及びガス注入中の監視が不十分であったこと。

### 3. 再発防止対策

#### (1) 教育訓練の徹底

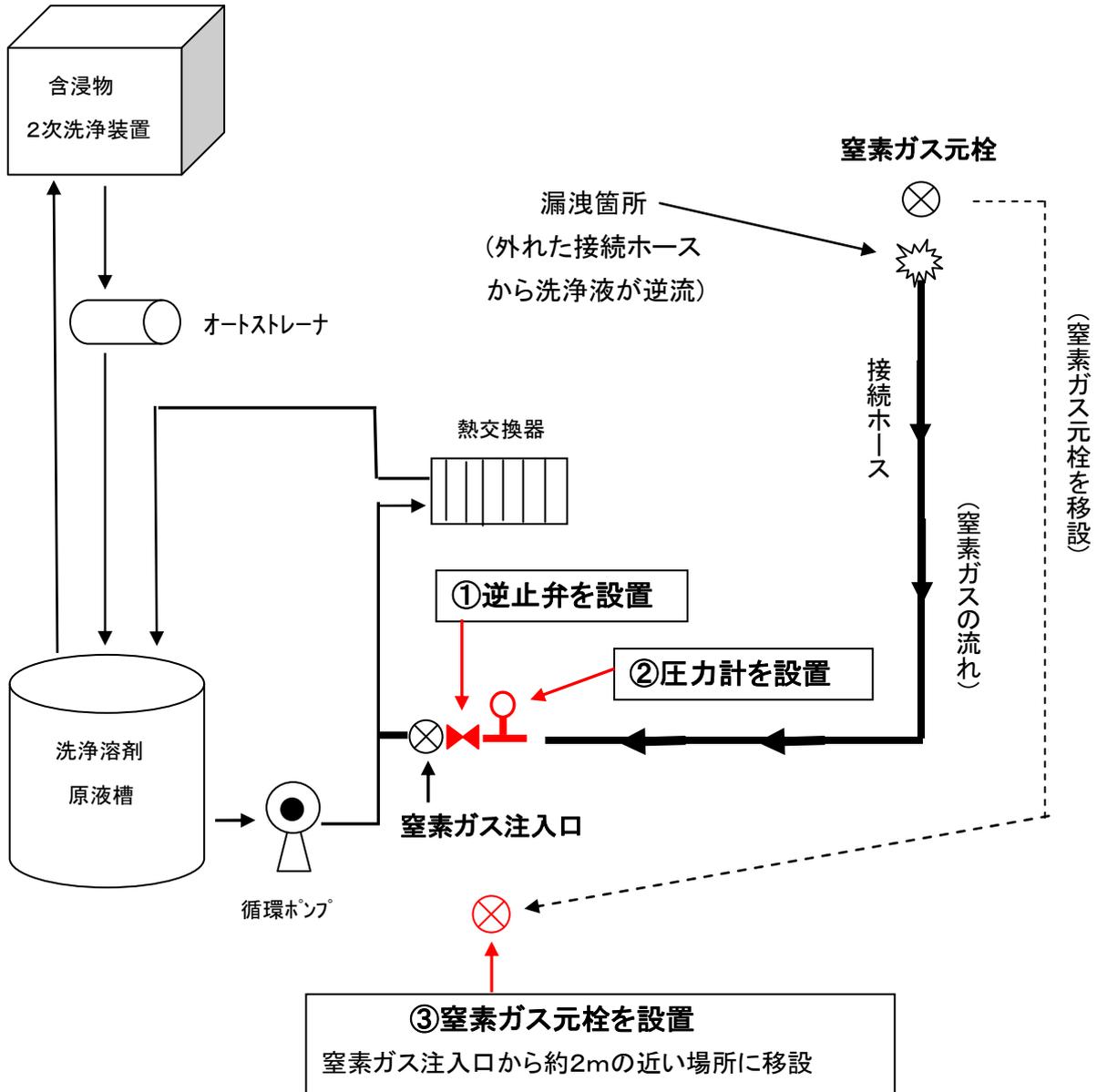
運転会社の作業員に対し、作業手順書に基づく窒素ガス接続作業訓練及び確認・監視作業訓練を行い、再発防止の徹底を図りました。

#### (2) 設備改善

人的ミスを防止するため、以下の設備改善を実施しました。

- ① 洗浄液の逆流防止のため、逆止弁を設置しました。
- ② 窒素ガスの導通確認のため、圧力計付き接続器具を設置しました。
- ③ 窒素ガスの導通確認・監視作業の効率化のため、窒素ガス元栓を窒素ガス注入口から約 2 m の近い場所に移設しました。

## 対策後の設備概念図



### <連絡先>

日本環境安全事業株式会社北九州事業所

所長 牧田 泉 (TEL 093 - 752 - 1113)

副所長 入江 隆司 (TEL 093 - 752 - 1188)

総務課長 田野 洋 (TEL 093 - 752 - 1113)